

# 組織部速報

2015年 7月17日

No. 6

## 「たしろかある」を職場で広げよう!

「たしろかある応援プロジェクト」の取り組み、大変お疲れ様です。JR貨物労組の全国大会発言や、JR東労組の機関紙に「たしろ」の語り方について、成功した体験が紹介されています。職場・地域での取り組みに活かしていきましょう。

### 関西・稲垣代議員発言

わたしは「たしろ」を訴えるために、様々な職場に入りました。入りにくい職場もありましたが勇気を出して入ることにしました。最初は「役員は来ないでくれ」と言われましたが、何度も行くうちに話せる仲間になってきて、最後には「お前には負けた」と言ってたしろを取り組んでくれました。日頃から役員として接し、信頼関係をつくるのが大切だと実感しました。

### 東海・武藤代議員発言

今までは「たしろ」の取り組みについては「どうせダメだろう」という逃げの姿勢、過度の心配など、不毛な議論ばかりを繰り返していました。しかし、「たしろ」の取り組みが進まないのは、今まで単純に100%の組合員にあたってないだけでした。日頃からの関係を信じ、誠意をもって組合員と向き合えば取り組んでもらえるということがやってみてわかりました。

### 東労組Aさん

実家に帰省した時に、両親に話したところ「たしろなんか知らない」と断られました。

私は諦めずに「たしろを知らなくても俺を信用して応援してくれ」と頼みました。その結果、両親は協力してくれるようになりました。

